



広報

大熊町役場会津若松出張所

8月1日発行 / 大熊町役場総務課 所在地：福島県会津若松市追手町2番41号 ☎フリーダイヤル：0120-26-3844(代)

E-mail：okuma@town.okuma.fukushima.jp / ブログ大熊町 <http://blog-okuma.jugem.jp/>

大熊町公式ホームページ <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

今月の主な内容

特	集	②～③
町	の	④～⑤
民	の	⑥～⑨
KIZUNA	お	⑩～⑬
お	知	⑭～⑱
町	民	⑲
保	健	⑳～㉑
あ	ら	㉒

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま



8

復活の舞

— 熊川稚児鹿舞 (2014.7.20) —

2014〔平成26年〕No.505

私たちは大熊町復興支援員です

避難先のコミュニティ支援やタブレット端末で紹介する動画の取材などに当たる大熊町復興支援員9人が、5月から順次活動しています。会津若松市、いわき市をはじめ全国各地で避難生活を送る町民の皆さんが古里の絆を確認することができるよう、町役場出張所や埼玉県の事務所を拠点にして奮闘中です。今後、皆さんのところにお邪魔してお話を聞かせていただくこともあるかと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



渡部 克彦 39歳

広報担当

- 出身** 会津若松市
- 業務** タブレットで配信する動画の撮影・編集
- 拠点** 大熊町役場会津若松出張所内
- 趣味** ドライブ
- 抱負** たくさんの笑顔を撮影していきたい、それが懐かしい顔との再会のきっかけになればうれしいです。



村田 ちなみ 21歳

広報担当

- 出身** いわき市
- 業務** タブレットで配信する動画の撮影・編集
- 拠点** 大熊町役場いわき出張所内
- 趣味** 読書
- 抱負** 仕事を通して成長していくとともに、大熊町の方々とふれあい、笑顔を届けられるような活動をしていきたいです。



河手 恵美子 31歳

広報担当

- 出身** 会津若松市
- 業務** タブレット相談室のコールセンター
- 拠点** 大熊町役場会津若松出張所内
- 趣味** 旅行
- 抱負** より多くの町民の皆さんに情報を知っていただく為のお手伝いをしていきたいです。



山之内 瑞希 19歳

広報担当

- 出身** 大熊町
- 業務** タブレットで配信する動画の撮影・編集
- 拠点** 大熊町役場会津若松出張所内
- 趣味** 音楽鑑賞
- 抱負** 初めてのことばかりですが、タブレットを通して町民の方々の笑顔を届けていきたいです。



牟田 麻起子 29歳

避難者コミュニティ支援担当

- 出身** 大阪府豊中市
- 拠点** 大熊町コミュニティ支援関東事務所
- 特技** 人を笑顔にすること
- 抱負** 県外に避難されている町民の皆さんの“ふるさとを愛する心”を繋ぎ、関東圏から、大きな絆の輪をつくっていきたいと思っています。



星川 美智子 50歳

避難者コミュニティ支援担当

- 出身** 大熊町
- 拠点** 大熊町コミュニティ支援関東事務所
- 抱負** 以前のような住民同士の絆と活気を復活させ、一緒に前進したいです。
- 自己紹介** 埼玉県川口市で避難生活中。目を閉じれば、ふるさとの自然、緑の匂いさえ思い出され、離れてみて、ふるさとの大事さを感じています。



土田 功光 48歳

避難者コミュニティ支援担当

- 出身** 東京都八王子市
- 拠点** 大熊町コミュニティ支援関東事務所
- 特技** 料理
- 抱負** 一人でも多くの町民にお会いし、多くの笑顔を“未来”の推進力に変えていく、そのお手伝いができれば、まさに本望！



梅村 武之 29歳

避難者コミュニティ支援担当

- 出身** 京都府京都市
- 拠点** 大熊町役場いわき出張所内
- 特技** 人力車を傳（ひ）くこと
- 自己紹介** 宮城県気仙沼市・岩手県陸前高田市・山田町にて被災者支援などをしてきました。皆さんが安心して送れる日常が少しでも早く訪れることを、心から願っています。



富岡 亜紀 32歳

避難者コミュニティ支援担当

- 出身** 千葉県成田市
- 拠点** 大熊町役場いわき出張所内
- 特技** 歌
- 自己紹介** 双葉町生まれ、千葉県育ち。幼いころから大好きだった場所のために、できることをたくさんしたいと思っています。

大熊町コミュニティ支援関東事務所オープン

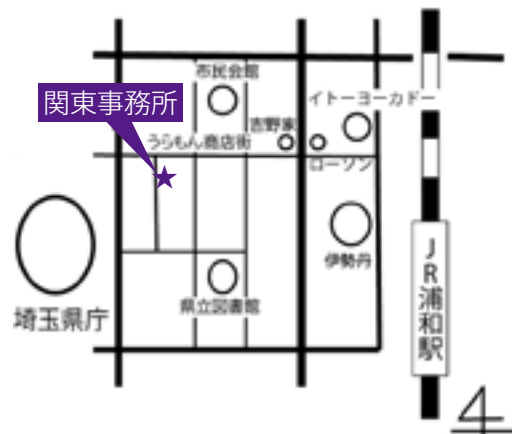
大熊町復興支援員の活動拠点となる「大熊町コミュニティ支援関東事務所」が7月17日（木）、埼玉県さいたま市浦和区にオープンしました。

この事務所は、町が今年度から実施している復興支援員事業の一環として開設したもので、関東地方に避難する町民の皆さんのコミュニティ支援を行う際の活動拠点となるほか、事務所内には町民の皆さんが気軽に立ち寄って休憩や情報交換をしたり、小規模のイベントを行ったりできる「梨の実スペース」が併設されています。

復興支援員の牟田麻起子さんは「これから、関東圏にお住まいの皆さんの声をできるだけ伺い、県外町民の皆さんの絆づくり、コミュニティづくりをサポートしていきたい。交流の場や会を立ち上げたい、またはコミュニティをつくっていきたいというお声があれば伺いますので、ぜひご連絡ください。また、お近くへいらつしやる際には、ぜひ梨の実スペースでお茶を飲んでいただくさいね」と話しています。

場所はJR浦和駅から徒歩10分の距離で、近くには埼玉県庁や県立図書館があります。

地図



- ◆住所 埼玉県さいたま市浦和区
仲町2丁目15番4号
アイリーセブンコート1階
- ◆電話番号 048-711-7135
- ◆開所時間 午前10時～午後4時
- ◆定休日 土日祝日



▲関東事務所が入居するビル



▲「梨の実スペース」で交流する関係者

復興支援員、新たに2人



▲星川美智子さん



▲梅村 武之さん



▲委嘱状を受ける復興支援員（右）

避難先のコミュニティ支援に取り組み大熊町復興支援員に、新たに2人が加わりました。すでに活動している7人と合わせ、復興支援員は9人になりました。

2人は避難者コミュニティ復興支援担当の梅村武之さん（29）、星川美智子さん（50）。梅村さんは町役場いわき出張所、星川さんは埼玉県さいたま市に開設された町コミュニティ支援関東事務所を拠点に、町民をつなぐ活動に当たります。

2人に対する委嘱状交付式は7月1日、会津若松市の町役場会津若松出張所で行われ、鈴木茂副町長から委嘱状を受けました。

梅村さんは「長い避難生活を送る皆さんが、よりよい環境で、よりよい人生を過ごしてもらえよう、人々の心をつなぎたい」と抱負を述べました。星川さんは「生まれ育った大熊町が昔のような元気を取り戻せるよう、自分自身も町と共に前進していきたい」と意気込みを語りました。

国交省局長が大川原を視察



▲大川原の拠点づくりについて聞く石井局長（左）

国土交通省の石井喜三郎都市局長は7月4日、大熊町が復興拠点と位置付ける町内大川原地区を視察しました。

復興まちづくりビジョンに基づく同地区の将来像について、町担当者から説明を受けました。石井局長は「ハード面だけでなく、制度面で必要なことはないか検討したい」と述べました。

渡辺利綱町長が石井局長に対し、町復興に関する以下3項目の要望書を手渡しました。

- 1・復興まちづくりビジョン実現へ主導的役割を担うことについて。
- 2・常磐自動車道の追加（復興）インターチェンジの設置について。
- 3・6号国道の4車線化など拡幅を進めることについて。

若松の復興公営住宅が着工

県が会津若松市に整備する復興公営住宅、年貢町団地2、3号棟の安全祈願祭は7月9日、市内門田町の現地で行われました。県発注の復興公営住宅では初めてとなる木造で、温かみのある仕上がりになると期待されています。

建設するのは3LDK2戸、2LDK6戸の合計8戸。来年1月までに完成する予定です。

安全祈願祭では、くわ入れや玉串をささげて工事の無事を祈りました。渡辺利綱町長は「町民にとって大きな希望につながり、仮設住宅での不便な暮らしが一変し、安心して生活できると期待する」と述べました。

同市には合わせて100戸の復興公営住宅を計画しており、このうち70戸が着工済みとなりました。



▲くわ入れする渡辺町長（右）

健康で楽しく働ける、豊かなまちをつくりましょう。
みんなで助けあい、明るいまちをつくりましょう。
きまりを守り、平和な住みよいまちをつくりましょう。
自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
進んで学び、香り高い文化のまちをつくりましょう。

中学生、いす製作に挑戦

大熊中生を対象とした森林学習事業、木工教室は7月8日、会津若松市の同校仮設校舎で開かれ、生徒が間伐材を使った折りたたみのいす造りに取り組みました。



楽しそうにいすを組み立てる生徒



いすを完成させ喜ぶ生徒

2年生30人が参加しました。双葉地方森林組合の職員を講師に招き、森の役割や山の手入れの仕方などについて学びました。このあと県内産のスギの間伐材を材料にした折りたたみいすのキットを組み立てました。生徒は協力しながらいすを完成させ、好みの色を塗ってオリジナル作品に仕上げていました。

大玉村婦人会一座が訪問



民話に耳を傾ける町民の皆さん

大玉村婦人会は7月1日、会津若松市の扇町五号公園、扇町一号公園の両仮設住宅を訪れ、町民に民話語りを披露しました。

メンバーは語り部の後藤みずほ会長ら8人。同村の民話「ジュウイチの話」や大熊町の民話「身代わり地蔵」などを語りました。メンバーがストーリー

に合わせ、泥棒などに扮して登場する場面もあり、町民を楽しませていました。

後藤会長は東日本大震災の前、大熊町で開かれていた「図書館まつり」に招かれて民話語りをしたことがあったそうです。この日は当時の思い出も振り返り、町民とともに懐かしみました。



民話に合わせて寸劇を披露するメンバー

町民のひろば

大熊 KID'S スポーツ遊び大会が開かれました



子どもたちの歓声が響いた会場

NPO法人全国てらこやネットワークの岩沢圭一郎さんは「家庭で会話の中心となるのは子どもたちのことだと思うので、今回のイベントをきっかけに家族の会話がはずんでほしい」と語りました。

大熊町地域学習応援協議会主催の「大熊 KID'S スポーツ遊び大会」は7月5日、会津大短期大学部グラウンドで開催されました。

未就学児、小学生、中学生を対象にしたイベントで、グラウンドや体育館を使って鬼ごっこやドッジボールをして遊びました。参加した子どもたちは大学生と一緒に遊び、楽しそうでした。



運動を楽しんだ子どもたち

男の料理教室が開かれました

味の素が主催する「男の料理教室」は7月8日、大熊町役場いわき出張所2階コミュニティホールで開かれました。

今回はロコモティブシンドローム予防メニューとして、鮭とにらの混ぜご飯、キャベツと豆腐のわか鶏そぼろ蒸し、レンコンといんげんのシャキシャキ和えを作りました。参加した8人の男性は、塩分



料理に挑戦する男性



ロコモ防止メニューについて聞く参加者

控えめでもおいしい料理を手順に沿って手際よく調理しました。

奥さまの勧めで参加された澤内俊昭さんは「久しぶりに大熊町の方に会えて楽しいひとときだった」と語りました。

アメフト選手と交流しました

日本社会人アメリカンフットボールXリーグに所属する富士通フロンティアーズの選手らが7月16日、会津若松市の大野小・熊町小を訪れ、児童と鬼ごっこやパス練習をして交流しました。

訪れたのは佐藤健太選手、藤田篤選手、後藤啓選手、常盤真也GM代行らで、両校の6年生



パス練習を体験する児童



選手に体当たりする児童

26人が迎えました。選手が投げるパスをキャッチする練習に取り組んだり、選手への体当たりを体験したりしました。また「スーパー鬼ごっこ」では、逃げ回る選手を追いかけて腰に付けた布を奪い合いました。

強くて優しいお兄さんたちとの交流に児童は大喜びで、歓声を挙げながら走り回っていました。

落語と餃子を楽しみました



落語で住民を楽しませる遊雀さん

三遊亭遊雀さん、入船亭小辰さんが江戸落語、宮田陽さん・昇さんのコンビが漫才を披露し、詰めかけた住民を楽しませました。同社は栃木県に工場があり、約20人の社員がボランティアで宇都宮餃子づくりに腕を振りました。この日は焼き餃子と水餃子で約1,500個を用意。住民はできたての餃子に舌鼓を打っていました。

会津若松市の一箕町長原地区仮設住宅で7月19日、「江戸落語&餃子を食べよう会」が開かれ、住民の皆さんが満足のひとときを過ごしました。

自動車部品製造の京浜精密工業（横浜市）が行っているボランティア活動の一環で、同仮設住宅では昨年5月に続いて2度目の開催となりました。



会場で餃子を焼くボランティア社員

町民のひろば

幼稚園で「笑顔いっぱいまつり」



様々なゲームを楽しむ園児

会津若松市の大熊幼稚園で7月18日、PTA主催による「笑顔いっぱいまつり」が開かれ、園児が体験型のゲームなどを楽しみました。

園児28人と家族、教職員らが参加しました。PTAはヨーヨー釣り、射的、シャボン玉、宝探しなど好奇心やチャレンジ精神を育てるブースをたくさん用意し、園児が夢中で取り組んでいました。園児へのプレゼントもあり、大喜びで列をつくっていました。

「おおくま希望の翼」の結団式

大熊町の中高生を海外に派遣する「おおくま希望の翼」の結団式は7月12日、町役場会津若松出張所で行われました。

派遣事業は今回で12回目。8月1日から9日まで、姉妹都市のオーストラリア・バサーストやシドニーでホームステイや語学研修に取り組みます。

結団式では団員17人に渡辺利綱町長が認定書を交付しました。代表の鈴木麗菜さん（平商高2年）が「町そして日本の代表として、思い出深く有意義な国際研修をしてきます」と誓いました。

この後、事前研修を行い、現地での学習テーマなどを確認しました。



事前研修に取り組む生徒

バドミントン全国大会出場を報告



全国大会出場を報告した佐久間さん（中央）

第32回全日本レディースバドミントン選手権大会への出場を決めた大熊町の佐久間純子さん（双葉クラブ）は7月10日、町役場会津若松出張所を訪れて渡辺利綱町長に出場を報告しました。

佐久間さんは南相馬市の高田美帆子さんとダブルスを組み、県大会で1位の成績を収めました。全日本レディース選手権には福島県代表として出場。「決勝トーナメントに進めるよう頑張りたい」と話していました。

KIZUNA

おおくまふれあい通信

第16号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。



「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



栃木県 宇都宮市

さかうえ のぶゆき

坂上 信行 さん

自宅は大和久区。町民生委員で同区長。宇都宮市内に住宅を構え、この春から、妻、長男夫婦、孫、母とともに生活している。

県内居住の思いは強かったが、子どもや孫の将来を考え、県外での生活を決断した。

この春、会津若松市から宇都宮市内に転居してきました。「会津若松市から大熊町の自宅へ」という思いは今でも捨てきれませんが、現実には「難しい」というより、むしろ「不可能」に近いのかもしれないと感じるようになりました。

私は、農業の傍ら、町民生委員と副区長を務めていたため、被災当日は、午前中に大熊中学校の卒業式に来賓の一人として出席し、昼前に帰宅してから、ほうれん草の出荷作業のために出かけていた時、地震が発生しました。揺れの大きさと長さに驚き、軽トラックにしがみついて身動きが取れない状態でした。当時、自宅には退院間もない母、妻、そして孫たちがおり、心配で家路を急ぎましたが、途中、道路の損壊のため、迂回を繰り返したため、いつもは5分程度の道のりが、30分以上もかかってしまいました。

自宅に戻り、母らの無事を確認してすぐ、民生委員として、地区内のお年寄りや体が不自由な方々の安否を確認するために出かけ、避難所への移動が難しい方2名をスポーツセンターに連れていきました。また、当地区は500世帯以上あり、範囲も広いので、地区内の見回りなどは、各班の方々にお願いで、分担するなどしました。その夜は、行政区内の皆さんとともに集会場に身を寄せました。停電していましたが、長男のハイブリット車から電源を供給でき、テレビや電燈をつ

けられたため、皆さんにとっても喜ばれました。

翌朝、理由がはっきりしないままに避難を告げられました。地区内の皆さんには自宅に携行品を取りに行つてから再度集まってもらい、避難バスの後ろに車列を組んで町を離れました。一度、田村市内の避難所に入りましたが、幼少の孫が周囲に迷惑をかけない心配だったため、川内村内や千葉県内の娘たち一家のもとを経て、平成23年4月初旬に会津若松市内に移りました。同市での生活を続けましたが、子どもや孫の安全・安心のことや、叶うならば農業と親しんだ生活がしたいと、土地や住宅を探し、孫の新学期と入学に合わせ、今年3月下旬、約3年お世話になった会津若松の地に別れを告げました。

最近、中間貯蔵施設についての議論が活発化してきました。自宅のある地区は、東半分が同施設の予定地にかかるといわれています。原発事故で地域が分散し、この問題で、地区内に東西を分ける線が1本引かれ、長年の付き合いと絆が分断されるのかと思うと、残念でなりません。国や東電には、「机上の論理」ではなく、避難前はどうで、いまはどうなのかという現実を私たちと同じ目線で対話に臨んでほしいと思います。

避難後、行政区の活動はほとんどできていませんが、行政区共有財産の補償・賠償や清算ができた段階で、一区切りを付けたと考えています。



神奈川県 横浜市旭区

さかうえ いちろう
坂上一郎さん
せつこ
節子さん

自宅は大野1区。一郎さんは元役場職員。

避難後、夫婦ともに健康状態が良くない中、一郎さんは既往症が悪化し、手術を経て、リハビリを続けながらの生活を送っている。



私たち夫婦は、私が平成6年に役場職員を、妻が同11年に町内企業を、それぞれ退職しました。自宅は老後に備えバリアフリー工事を施し、静かな日々を送っていました。

平成23年3月11日、午前中に用事を済ませ、昼からゆっくりテレビを見ながら過ごしていたとき、緊急地震速報が流れて間もなく、大きな揺れが襲ってきました。私はとっさに倒れそうになるテレビを押さえました。その後、停電で、暖房をかけることもできなかつたため、車で暖をとりながら、あの寒い夜を明かしました。余震のたびに車が揺さぶられる中、ラジオからは、大津波による被害が伝えられ続けていましたが、当町に関する情報を耳にすることはありませんでした。

翌朝7時、何か情報を得ようと大野地区の公民館に向かってみると、すでに、避難指示が出されていると知らされたため、すぐに帰宅し、近所の皆さんとも話し合っつて、町民体育館に向かいました。その昼頃、ようやくバスに乗ることができ、町を離れ、行き先もわからない状態の中、バスは西に進み、田村市内の各所をまわり、田村市総合体育館に到着しました。

避難はせいぜい数日。しばらく、そんな思いを持っていました。原発の爆発や火災のニュースが流れるなど、深刻さを増す中、同16日朝、東京都内在住の長男が迎えにきてくれ、長男一家のもとに約1ヶ月ほどお世話になり、4月下旬には、長女一家に近い、被

災者向けに用意された市営住宅に入居し、現在に至っています。

町を離れてから、私たち夫婦は、避難ストレスが重圧となり、通院する日々を送っています。平成24年1月には古傷が悪化し、手術を受け、約3か月、入院しました。それ以来、歩行が難しい状態で、デイサービスに週4日間通いながら生活しています。

避難後、子どもたちにとっては、私たちが近くで生活しているために安心なようですが、都会暮らしは、特に、妻にとっては耐え難いようです。現在生活している地域は、高度成長期に開発された郊外にある団地で、高齢化や商店の撤退が進み「買物難民」状態です。また、大熊とは違い、きゅうりやねぎの1本に至るまで、何につけてもお金がかかります。借り上げ住宅の家賃支援がなくなれば、二人で暮らすのは経済的にも大きな負担です。どこかに住宅を求めての生活再建などは、高齢の私たちにとって心身的負担も大きい。つまり、「そこまでの元気を振り絞れない」という状態です。そのため、過日、災害公営住宅への入居者募集に応募しました。

避難から3年以上経過しても、つらいことが多いと感じています。一時帰宅すると、自宅敷地内は背の高い雑草に占領され、庭木には枯れるものも出てきています。国も東電も、被害者である我々に、もう少し「心」を持って接してほしいと思って止みません。



福島県 会津若松市

いしだ みずき
石田 瑞希 さん

大熊中学校 3年生

自宅は熊1区。被災当時は熊町小学校5年生。

中学に入学後は吹奏楽部に所属し、現在、部長を務めている。

両親、祖母とともに会津若松市内の借り上げ住宅で生活している。



東日本大震災が発生した日、私は同級生たちと、熊町小学校の体育館で、2週間後に予定されていた卒業式の準備をしていました。大地震に襲われたのは、床の水拭きやシートを敷いている時でした。私たちは、すぐに外に出て安全を確保できたため、ケガなどはありませんでした。その後、迎えに来た両親とともに帰宅しましたが、自宅は窓のサッシが外れるなどの被害を受けていました。まもなく日が暮れ、私たち一家は車の中で暖を取りながら夜を明かしました。

翌朝、バスで大熊を離れました。私たちは役場からのバスに、祖母は公民館からのバスに乗ったため、約2週間ほど離ればなれになりましたが、三春町内の体育館で合流することができました。その後、二次避難所となった会津若松市東山温泉にある宿泊施設や、同市内にある別の借り上げ住宅を経て、平成24年春から、現在の借り上げ住宅で生活しています。父は、仕事の関係で、平日はいわき市に単身赴任していますが、週末は帰ってきます。

私は3歳の時からピアノを習うなど、音楽、特に、楽器演奏に親しんできました。また、吹奏楽への憧れもあったため、中学校に入学後、吹奏楽部に入りました。入部当初、フルートを担当しましたが、その後、欠員が出たためクラリネットに転向しまし

た。フルート、クラリネットともに、面白く取り組める楽器ですが、フルートは基本的に「笛」と同じような仕組みのため、吹くのが難しく、音域が狭いのに対して、クラリネットは、広い音域を奏でることができ、より興味深く取り組んでいます。

今年度、3年生に進級して、私は吹奏楽部の部長になりました。部長は毎年、前年度の3年生と顧問が2年生の中から指名します。話が合ったとき、うれしく思った反面、部員は昨年度の12人に対して、今年度は9人に減ってしまうなど、大変な時に部長になってしまったなという思いもあります。

原発事故による避難以降、世界中から寄せられた支援に元気づけられながら日々を送っています。大熊を出ていかなければならなかったことは、とても残念なことですが、そうした支援の中で、普通では参加できない大人数が集まるイベントや、NHK交響楽団をはじめ、全国各地の有名なオーケストラのメンバーの生演奏を鑑賞できたり、指導者から直接教えていただけるなど、貴重な経験をさせていただきました。中学校生活最後の夏休みを迎え、高校受験も大詰めの時期に入りました。大人になってどのような職業に就きたいかなど、まだ、決まったものではありませんが、吹奏楽を続けられるような高校を志望しています。

税務署から

申告に関するお知らせ

期限延長地域(※)の申告
手続等の期限は平成27年3月
31日となっております。

期限間近になりますと税務
署等の窓口が大変混み合いま
すので、就労不能損害や営業
損害等に係る賠償金の申告を
される方はお早めに手続をお
願いします。

なお、避難指示区域内に住
居を有していた方は、家財に
対する雑損控除を受けること
ができる場合がありますので、
詳しくは相馬税務署又は最寄
りの税務署に電話でお問い合
わせください。

税務署では予約による申告
相談を行っています。

※田村市、南相馬市、川俣町、
広野町、榎葉町、富岡町、
川内村、大熊町、双葉町、
浪江町、葛尾村、飯館村

お問い合わせ先

相馬税務署

☎0244-36-3111

※自動音声に従って「0」

番を選択してください。

保険

国民健康保険高齢受給者証及び後期高齢者医療保険被保険者証の交付について

国民健康保険高齢受給者証
(70歳から74歳の方)及び後
期高齢者医療保険被保険者証
が平成26年8月1日から更新
になり、役場に登録されてい
る避難先の住所へ郵送してい
ます。有効期限のきれたもの
は、

- ① 役場住民課国保年金係まで
お持ちいただく
- ② 郵送で送付していただく
(会津若松出張所住民課国
保年金係宛)
- ③ ご自身で細かく切って破棄
していただく

のいずれかとなります。

また、8月になつても届か
ない場合には役場住民課国保
年金係までお問い合わせくだ
さい。

※一部負担金等免除証明書に
ついて

国民健康保険及び後期高
齢者医療保険に加入されてい
る方に発行している一部負担金
等免除証明書の有効期限は平
成27年2月28日までとなつて
おります。今回の送付には同
封されていません。現在お持
ちの一部負担金等免除証明書
を被保険者証と一緒にご使用
ください。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
住民課国保年金係

☎0120-26-3844

(フリーダイヤル)
内線 540、541

個人事業税

課税時期の変更

県では例年、8月に個人事
業税の納税通知書をお送りし
ていますが、原則として大熊
町に住所を有する方への今年
度の納税通知書は、所得税の
申告期限延長措置終了に伴
い、12月12日にお送りする予
定です。

納期限は、第一期分が27年
1月5日、第二期分が27年3

月31日となります。

また、複数年分の所得を申
告された方には、申告年数分
の納税通知書をお送りします。
減免制度など、詳しくは県
税部までお問い合わせくださ
い。

お問い合わせ先

相双地方振興局県税部

課税第一チーム

☎0244-26-1126

年金

国民年金保険料免除等の申請について

東京電力福島第一原子力発
電所の事故に伴い、避難指示
屋内退避指示を受けた市町村
に平成23年3月11日時点で住
所を有していた方は、ご本人
からの申請に基づき国民年金
保険料が全額免除になります
(免除された期間の年金給付
は、満額給付に対して2分の
1で計算されます)。平成26
年度分の免除申請は、平成26
年7月より受付しております。

また、平成26年4月から法
律が改正されて、2年1か月

前の月分まで遡及して免除申
請をすることができます。失
業等により保険料を納付する
ことが経済的に困難になった
ものの、申請を忘れていたた
めに未納期間を有している方
等は、役場住民課国保年金係
またはお近くの年金事務所へ
ご相談ください。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
住民課国保年金係

☎0120-26-3844

(フリーダイヤル)
内線540、541

試験

双葉地方広域市町村圏組合消防職員募集について

「私達と共に、ふるさと双
葉を守りましょう」。双葉地
方広域市町村圏組合は平成27
年度職員採用候補者試験を次
により行います。

◆試験職種

消防

◆採用予定人員

11人程度

◆職務内容

消防業務に従事します

◆試験の期日

第1次試験
平成26年9月21日(日)

◆時間

受付 午前9時～9時30分
教養試験 午前10時～正午
適性検査 午後0時10分
～0時35分

◆試験場

杉妻会館
(福島市杉妻町3-45)

◆受付期間

平成26年7月16日(水)
～8月15日(金)

※その他、受験資格等、採用候補者試験に関する詳細については、当組合ホームページ試験公告をご覧いただくか、問い合わせ先までお電話ください。

◆お問い合わせ先

双葉地方広域市町村圏組合 事務局総務課
☎0240-27-4665
双葉地方広域市町村圏組合 消防本部総務課
☎0240-25-8523

相談

ふくしまの今とつながる相談室toiroについて

ふくしま連携復興センターでは、福島県外に避難されている方を対象とした事業、「ふくしまの今とつながる相談室toiro」を実施しています。

県外で生活されている方々の悩みや想いは十人十色だと思えます。様々な相談をひとつひとつ丁寧を受け止め、解決に向けてお手伝いしたい。そんな相談窓口です。

「福島に戻りたいけど除染がちゃんと進んでいるか心配」「県外避難から戻ったママたちと情報交換したい」「避難者のイベントに福島県内の状況を話せる人を呼びたい」等、様々なご相談やお問い合わせに対応します。

◆相談ダイヤル

☎024-573-2731

◆開設時間

毎週月・水・金曜
午前10時～午後5時
※祝祭日の場合はお休みとさせていただきます

◆住所

〒960-8068
福島県福島市太田町4-8
メゾナルウエV1号室
(ふくしま連携復興センター内)

◆運営

一般社団法人ふくしま連携復興センター

◆サービス内容

①電話によるご相談

一度お電話いただき、こちらから折り返しお電話いたしますので、電話代のご心配なくお気軽にご相談ください。

②相談室(福島駅から徒歩で約5分)にお越しください

対面相談をご希望される場合も予めお電話ください。日程等を調整させていただきます。

③ふくしまの今を伝える人材の県外派遣

★例えばこんなとき、ご相談ください

- ・県外避難者が利用できる支援サービスを知りたい。
- ・家族で参加できる福島県外の保養プログラムを教えてください。
- ・県外から戻ったママたちと情報交換できる場があれば教えてください。
- ・母子で県外に避難していますが、福島に戻ることを考えています。避難前に住んでいた地域の除染状況を知らりたい。
- ・県外避難者向けの説明会で福島県内の状況を説明できる人物を紹介してほしい。

自衛官募集に関するお知らせ

自衛隊福島地方協力本部は航空学生、一般曹候補生、自衛官候補生(男子、女子)を募集します。

募集種目	航空学生	一般曹候補生	自衛官候補生 男 子	自衛官候補生 女 子
資格	高卒(見込含) 21歳未満の者	18歳以上27歳 未満の者	18歳以上27歳 未満の者	18歳以上27歳 未満の者
受付期間	平成26年8月1日～9月9日		年間を通じて 行っています	平成26年 8月1日～9月9日
試験期日	1次試験: 9月23日 2次試験: 10月18日～23日の間	1次試験: 9月20日 2次試験: 10月11日～13日の間	9月20日 13:30～16:40 (筆記試験のみ) 後日、口述・身体検査	9月25日
試験場所	1次試験: 郡山市労働 福祉会館	1次試験: 会津大学 2次試験: 郡山駐屯地	筆記試験: 会津大学 口述・身検: 郡山駐屯地	筆記・口述・身検: すべて郡山駐屯地

【応募・お問い合わせ先】自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所

〒965-0825 会津若松市門田町黒岩字大坪 57-1 ☎0242-27-6724



双葉消防本部から

ノートパソコン用バッテリーパックのリコール

2011年4月から2011年10月に製造された、パナソニック株式会社製のノートパソコン用バッテリーパックの一部製品におきまして、異常加熱し、発熱、発火に至る可能性があることが判明いたしました。

これに伴いましてパナソニック株式会社ではバッテリーパックの無料交換を実施しております。つきましては、ご家庭や職場で使用されているノートパソコンのご確認をお願いします。

1. 対象製品

対象ノートパソコン	対象バッテリーパックの品番	対象製造期間	対象個数
CF-S 10シリーズ	CF-VZSU 60 AJS	2011年4月 から 2011年7月	43,140個
CF-N 10シリーズ	CF-VZSU 61 AJS		
	CF-VZSU 64 AJS		

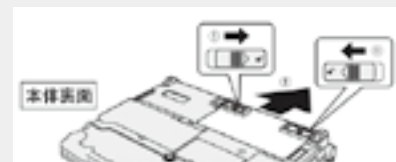
2. 確認方法

- (1) パソコン機種の確認
パソコンの機種は、本体の機種表示をご確認下さい（右図参照）



- (2) バッテリーパックの取り外し
本体電源を切り、バッテリーパックを取り外してください。

- (3) バッテリーパックの品番と生産ロット記号の確認
バッテリーパック品番と生産ロット記号は、バッテリーパックの銘板をご確認下さい。回収対象商品は、生産ロットが下記の一覧に該当するものになります。



品番：CF-VZSU 60 AJS	
生産ロット番号	B4VA・B5DA・B5YA・B7EA・B7LA・B59AB5GA・B63A・B7FA・B5CA・B5HA・B7DA・B7KA
品番：CF-VZSU 61 AJS	
生産ロット番号	B4WA・B5CA・B5KA・B5TA・B68A・B7CA・B56A・B5DA・B5LA・B5VA・B69A・B7DA・B57A・B5EA・B5MA・B5ZA・B6AA・B7MA・B59A・B5GA・B5PA・B61A・B6DA・B5AA・B5HA・B5RA・B62A・B6EA・B5BA・B5JA・B5SA・B63A・B6FA
品番：CF-VZSU 64 AJS	
生産ロット番号	B4VA・B5PA・B6LA・B76A・B5DA・B62A・B6MA

無料交換のご連絡窓口

- ①ホームページ URL: <http://askpc.panasonic.co.jp/info/140528.html>
 ②電話 フリーダイヤル 0120-870-163 (無料 携帯・PHSからも利用可)
 (受付時間) 9:00~17:00 (土・日・祝は除く)

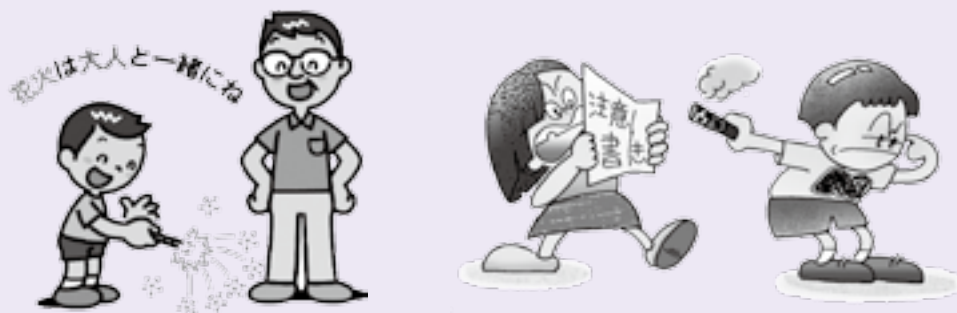
消防署からのお知らせ

～ルールを守って楽しい花火遊び～

夏の風物詩である花火も、原料は火薬であることを忘れてはいけません。間違った使い方をすれば、火事や思わぬ事故につながります。花火で遊ぶ時は使用方法、マナーを守りましょう！

花火をするときは・・・

- ・ 風の強い日は、花火遊びはやめましょう。
- ・ 花火を人や家に向けたり、燃えやすい物の近くでは遊んだりしないようにしましょう。
- ・ 水の入ったバケツを準備しましょう。
- ・ 子供だけでなく大人と一緒に遊びましょう。



花火がおわったら・・・

- ・ 完全に消火し、燃えかすなどのゴミは持ち帰りましょう。

「花火遊びは迷惑にならない場所と時間と後始末!!」

火事と救急は119番

<消防署連絡先>

◇浪江消防署 0240-38-2119

◇富岡消防署 0240-25-2119



がんばろう会津、まけるな大熊 東山盆踊りが開かれます

東山温泉恒例の「東山盆踊り」が今年も開催されます。毎年、大熊町民の皆さんにも大勢ご参加いただいています。8月16日の「会津若松市民・大熊町民盆踊り」では相馬盆唄も演奏されます。湯川に架かるやぐらを中心にしてつくられる踊りの輪を、今年もお楽しみください。

今年は東山盆踊りが始まって70周年です。記念イベントとして温泉街と湯川を幻想的にライトアップする「光の街プロジェクト」を繰り広げます。

日時 8月13日（水）～16日（土）午後7時10分～午後9時15分

13日 福島民報社の夕べ（女将さんと踊ろう）

14日 会津清酒と社交部会の夕べ

15日 福島民友新聞社と東山芸妓の夕べ

16日 会津若松市民・大熊町民盆踊り

会場 会津東山温泉

※東山共同駐車場または会津武家屋敷の駐車場をご利用ください。会場まで無料シャトルバスが運行します。

※「光の街プロジェクト」は8月1日（金）～16日（土）の午後7時から午後10時まで。観覧無料です。



【お問い合わせ先】 東山温泉観光協会 ☎0242-27-7051

町民掲示板

おおくま町会津会 旅行のご案内

おおくま町会津会は9月6、7の両日、檜枝岐歌舞伎の鑑賞と駒止湿原の散策、前沢曲家集落の見学を楽しむ旅行を企画しました。ぜひご参加ください。

- ◆実施日 平成26年9月6日(土)
～9月7日(日)
- ◆集合時間 午前7時45分
- ◆出発時間 午前8時
- ◆出発場所 JR会津若松駅前
- ◆会費 13,000円
- ◆募集人数 15人になり次第、締め切る
- ◆対象 おおくま町会津会員に限る

【お申し込み・お問い合わせ先】

おおくま町会津会(山本)

☎090-7078-2327

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ

大熊町避難者コミュニティ 「積小為大の会」のご案内

8月の定例会は次の通り開催します。

- ◆日時 平成26年8月24日(日)
9:30～12:00
- ◆場所 社団法人茨城県産業会館
(水戸市桜川12-2-35)
- ◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用
ください
- ◆内容 懇談会および懇親会

【お問い合わせ】

野田朋弘(日立市) ☎090-8423-5608

Email: tomohiro-n@higashi-t.com

大熊町の避難状況

○人口及び世帯数

	人口数	世帯数
平成23年3月11日時点	11,505	4,235
平成26年6月30日現在	10,883	3,955
増減	△622	△280

●避難先の状況 (平成26年7月1日現在)

■福島県内の主な避難先地域

いわき地域4,140人、会津地域2,191人、
県中地域1,109人

■福島県外の主な避難先都道府県

埼玉県399人、茨城県392人、
東京都322人

埼玉県へ避難している皆さんへ

輪になろう!

ふみ出そう!

ひまわりサロン

- ◆日時 8月21日(木) 10:00～
・お楽しみサロン
絵手紙を書こう
- ◆場所 川口市立やすらぎ会館
(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)

【お問い合わせ】

ひまわりの会 ☎080-5431-0123 (島田)

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
2014年(平成26年)6月		
亀田 政 豊	88歳	大 野
下 宮 秀 三	82歳	大 野

死亡者名	年齢	住所
末 永 政 治	56歳	滑 津
三 瓶 文 夫	77歳	新 町
橋 本 澄	99歳	長 者 原

夏バテ予防をしましょう!

暑い日が続き、体調を崩したりはしていませんか?今の時期は、暑さで寝苦しく生活のリズムが崩れたり、だるさから食欲不振になり、体調が崩れて夏バテになってしまいます。



*夏バテを予防するオススメの食材

タンパク質

しっかりした体を作る
(肉、魚、卵、豆製品)

ビタミンA・C

体の抵抗力を高める (人参、カボチャ、ジャガイモ、キウイ、赤ピーマン、にら)

ビタミンB1

疲れにくくする
(豚肉、ごま、ウナギ)

酢味の食材

食欲増進、疲労回復
(梅、柑橘類)

香味野菜

ビタミンB1の吸収を良くする
(玉ねぎ、長ねぎ、ニンニク)



豚の生姜焼き、ほうれん草のごま和え、冷や奴、グレープフルーツなどがオススメです!
バランス良く、少しずつでもいろいろな食品を食べましょう。

*夏バテ予防は食事だけではない!

起床、就寝の時刻を一定に保つこと、決まった時間に食事を行うことで生活のリズムを保つことができます。

また、就寝中のクーラーのつけっぱなしは夏風邪や下痢、体調不良の原因となるので禁物です。冷房を効かせるとしても温度設定は 28℃以下にはせず、直接身体に風が当たらないようにすると良いでしょう。

正しい夏バテ予防をしっかりと行い、楽しい夏を過ごしましょう!



心の健康相談のお知らせ

福島県内の各保健福祉事務所(保健所)では、年間を通じて精神科医による「心の健康相談」を実施しています。相談は無料で、秘密は厳守されます。

実施日時	場所	住所	備考
8月28日(木) 午後1時~4時	福島県精神保健福祉センター	福島市御山町 8-30 福島県保健衛生合同庁舎 5階	予約制 ☎024-535-3556
8月18日(月) 午後1時15分~3時30分	会津保健福祉事務所 (会津保健所)	会津若松市追手町 7-40	予約制 ☎0242-29-5275
8月25日(月) 午後1時30分~3時30分	南会津保健福祉事務所 (南会津保健所)	南会津町田島字天道沢甲 2542-2	予約制 ☎0241-63-0305
8月20日(水) 午後1時30分~3時	県南保健福祉事務所 (県南保健所)	白河市郭内 127	予約制 ☎0248-22-5649
8月27日(水) 午前9時~11時	相双保健福祉事務所	南相馬市原町区錦町 1-30	予約制 ☎0244-26-1132

※相双保健福祉事務所いわき出張所(0246-24-6118)では随時保健師などが相談に応じています。

※県外でも同様の相談会を行っていますので、最寄りの保健所にお問い合わせください。

「県民健康調査」のご案内



①夏休みを利用して「小児健診」を受診ください



平成26年度県民健康調査「小児健診」が始まりました。この健診は、長引く避難生活や放射線への不安などが健康に様々な影響を及ぼすことが懸念されることから、疾病の早期発見、早期治療のために行っているものです。

実施期間は7月から12月までですが、秋以降はインフルエンザの予防接種などで医療機関が大変混雑します。夏休みをご利用いただき、早めの受診をお勧めします。

対象者となる方

平成23年時指定避難区域等の住民で平成11年4月2日～平成26年4月1日までに生まれた方（0歳～6歳及び小学校1年生から中学校3年生まで）

実施期間 平成26年7月～12月（12月は混雑が予想されますので早めの受診をお勧めします）

費用 無料

必要書類 H26年度版「小児健康診査受診録兼結果報告書」及び「承諾書」

※詳しくは、対象の方にお送りしている「小児健康診査」に関するお知らせをご覧ください。

※町から県外へ避難されている方について7月15日にご案内を発送し、県外医療機関を別途ご案内しております。

②「甲状腺検査」を受診できなかった方へ～夏休みを利用して、是非ご受診ください～

本年4月～7月の間で県立医科大学からご案内した「甲状腺検査」の日程で受診ができなかった方は、県内検査実施機関（6機関）にて検査をお受けいただくことができます。

なお、県内検査実施機関は「完全予約制」となり、予約は医科大学にて行います。受診を希望される方は、下記のお問い合わせ先までお電話をお願いします。

※県内検査実施機関への直接のご連絡はご遠慮ください。



【福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター】

電話：024-549-5130（土日祝日を除く 9：00～17：00）※おかけ間違いにご注意ください
メール：kenkan@fmu.ac.jp

※受診可能な県内検査実施機関（6機関）

福島市：あづま脳神経外科病院

伊達市：中野病院

郡山市：菊池医院、郡山市健康振興財団

いわき市：松村総合病院、ふじい医院

※県内検査実施機関一覧はWEBよりご確認ください

<http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/kyoten/>



表紙の写真

熊川稚児鹿舞 4年ぶり復活 （おおくま・甲和会夏まつり）



▶大役を果たした4人の児童

「おおくま・甲和会合同夏まつり」は7月20日、会津若松市の一箕町長原地区仮設住宅で開かれ、大熊町熊川地区の伝統芸能「熊川稚児鹿舞」が4年ぶりに披露されました。東日本大震災の津波で衣装や楽器が流され、福島第一原発事故に伴う避難もあって中断していましたが、地元小学生や保存会の努力で復活しました。

鹿児（ししこ）を務めた御厩小の佐藤一洸君（5年）、弥琴君（3年）兄弟、熊町小の広嶋大吾君（5年）、周吾君（3年）兄弟の4人は2年ほど前から練習を始め、保存会の指導のもとで細かな動きなどを身に付けました。今年4月には衣装や楽器も新調し、復活への準備が整いました。「本番」では4人が保存会の演奏する笛や太鼓に合わせて見事に踊り切り、町民から拍手を受けました。

合同夏まつりは東京都江戸川区の小岩地区を中心に提灯神輿（ちようちんみこし）や出店の運営などに取り組んでいる甲和会が、昨年からは仮設住宅自治会とともに実施しています。当日は勇壮な提灯神輿が会場を練り歩き、おなじみの「相馬盆唄」での盆踊りが繰り広げられました。ヨーヨー釣り、的当てなどのゲームや「なみえ焼そば」などの出店が、夏の一日をにぎやかに演出していました。



▲笛や太鼓を奏でる保存会



▲盛り上がった提灯神輿



▲盆踊りを楽しむ参加者



▲大人気だったなみえ焼そば



▲ヨーヨー釣りに挑戦！



▲夏まつりを楽しむ子どもたち